



越谷市議会議員

福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 2018年夏号 No. 29

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120

TEL/FAX 048-978-3335

Mali info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

市民の移動手段(公共交通)を確保せよ!

6月定例議会 一般議案より

越谷市内の3バス路線が7月より休止。 越谷市の認識を問う!

【福田質問】 越谷市内の下記3バス路線

- ①せんげん台駅東口～越谷市立病院線
- ②せんげん台駅東口～東埼玉テクノポリス線
- ③越谷駅西口～浦和美園線

が2018年7月1日より休止されることとなった。市民の移動手段が失われることにたいしての市長の認識は?

【市長答弁】 「市公式ホームページ」、「広報こしがや」

での情報発信や、「こしがや公共交通ガイドマップ」の配布を通じて、日常生活に少しづつ、鉄道・路線バス・タクシーなどの公共交通を取り入れてもらうよう啓発活動を行い、利用促進を図ってきた。また新規バス路線の開設に向け、市民の皆様・バス業者・市の三者による公共交通地区懇談会の開催やバス停環境整備工事などを実施していた。3バス路線の休止に関しては、バス事業者に存続について再考いただけるよう協議を重ねてきたが、乗客が増えないことにより採算がとれないことや運転手不足等により休止が決定された。本市としては市民の皆様の日常生活等の移動に影響を与えるバス路線の休止については非常の残念なことと認識している。今後は、越谷市地域公共交通網形成計画に基づき、バス路線のPR活動を行う

とともに、市民の皆様・公共交通事業者・市の三者がより一層連携しバス路線の維持・確保に努めていく。



(バスの運転手が不足している)

超高齢社会のなか、福祉制度として公共交通を整備する考えについて問う!

【福田質問】 越谷市の7地区において公共交通不便地域が存在するが、この地域は採算の確保が出来ず、民間バスが通ることは難しいと思われる。超高齢社会のなか、市民の移動手段の確保を福祉制度と位置づけ、財政負担をしながら公共交通を整備する時期だと考えるが市長の認識は?

【市長答弁】 高齢化が一層進む中、身近に利用できる地域の移動手段があれば、高齢者や障がい者が安心して外出でき、生活意欲の向上につながり、社会参加が促進されるものと考えている。本市における福祉的観点からの公共交通施策については、高齢者の生きがいがづくりの一環として、60歳以上の老人福祉センターを利用された方に、帰りの路線バス利用券を交付する事業や、障がいのある方の生活圏の拡大や社会参加の促進を図ることを目的とした、福祉タクシー利用券や自動車燃料費助成券を交付する事業をおこなっている。(中面につづく)

会派有志メンバーによる行政調査より



更に詳しく! ブログをチェック

2018年5月に2か所の行政調査を実施しました。調査の詳細レポートはブログをぜひご確認ください。

1. 西多摩特養ガイド事務局(5月11日)

東京都西部の8市町村でつくる特養検索システム

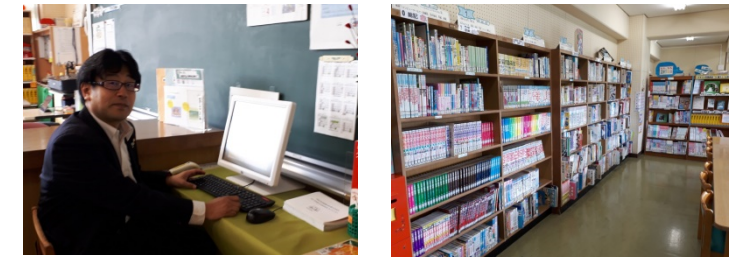
東京23区で特別養護老人ホーム(特養)の設立が相次いだため、西多摩地区の特養の経営が厳しくなった現実があります。そこで各特養の所長たちが協力し西多摩地区の特養を利用してもらうと、検索サイトを立ち上げたとのこと。実は私の狙いは西多摩の逆のモデルにあります。越谷市は特養の待ち人数が多く、なかなか入居できないとよく聞きます。そこで近隣の5市1町(越谷市、松伏町、草加市、吉川市、三郷市、八潮市)で同じような検索サイトを作成し、越谷の方が近隣の特養に迅速に入れる仕組みが必要と考えました。しかしまずは正確な特養の待ち人数を把握するための実態調査が必要だと認識しています。



(特養検索のホームページです)

2. 茨城県取手市(5月16日)

学校図書館と市立図書館連携事業「ほんくる」の取組



(行政調査の様子です)

意外かもしれませんが、「学校図書館で生徒が市立図書館の本を予約して学校へ配送する。」というシステムを構築している自治体は、全国にほとんどありません。この取組は、

①まちから書店がなくなり、遠方の市立図書館へ足を運ぶなくなった子どもたちの本と出会う機会の格差をなくすため

②児童生徒の市立図書館利用率の減少が下げ止まらない対策として

この連携システムの構築をはじめたとのこと。取手市によると子どもが本に接する機会が少しづつ増えてきているとのこと。越谷市でもシステムの更新時に検討の価値があると考えます。

福田あきら(43歳)プロフィール

【所属会派】立憲民主党と無所属の会

【常任委員会】教育環境・経済常任委員会

【その他】越谷・松伏水道企業団議員

1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
 1982年清浄院幼稚園卒園
 1988年越谷市立桜井南小学校卒業
 1991年越谷市立越谷北中学校卒業
 1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
 1998年法政大学法学部法律学科卒業
 2000年現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
 ⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務
 2011年越谷市議会選挙初当選
 2015年2期目当選

●資格 社会福祉士/防災士/情報セキュリティマネジメント/宅地建物取引士/終活カウンセラーなど
 ●家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
 ●サッカー選手としての経歴
 ・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
 ・水戸ホーリーホック【現Jリーグ2部】
 ・国民体育大会(国体)サッカーや全国社会人サッカー選手権優勝など三度の日本一を経験
 ・越谷市サッカー協会副会長
 ・越谷市スポーツ少年団理事長



日々情報発信中

公式ホームページ
越谷市議会議員
福田あきら



ブログ
福田あきらの
政治家日記



★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方へのみの対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

6月定例議会 一般質問より(続き)

(一面からの続き) 高齢者人口が急速に増える中で公共交通不便地域にお住いの方の移動手段を確保することは重要と認識している。今後対象者や対象地域の設定などについて、他の自治体の取組も参考としながら、調査・研究していく。

【私の提言】

本質問では市長に『「公共交通不便地域において市民の足を確保するより良い手段をみんなで考えよう」。では何も進まない。「市が〇〇円の予算をつけるから、この中の予算内で最善の方法はないか考えてほしい」もしくは「他市の事例を参考にして採算率30%あれば福祉政策として公共交通を確保するので、良い方法を考えてほしい」と具体的に予算をもって、バス事業者、タクシー事業者、行政担当者、市民、議員に呼びかけないと何も進まない。ぜひ市長のリーダーシップをみせてほしい』と質問(提言含む)しました。

また、地域の方からは「運転免許を自主返納したくても、移動手段が確保できなければ返納できない。何か方法を考えてほしい」との要望も受けています。この点をふまえて、超高齢社会における公共交通の在り方をさらに考えて提言し、より良い政策を迅速に実現していきたいと思っております。

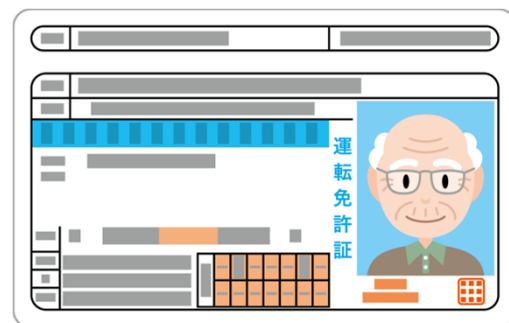
越谷をもっとバリアフリーに！ 「越谷市バリアフリー基本構想」策定を！

【福田質問】 高齢社会が進んだことなどもあり、バリアフリーの意識が高まってきている。越谷市の個別の取組は承知しているが、取り組み

全体をまとめた、バリアフリー基本構想がない。基本構想を策定し、その構想にそって進めるべきと考えるが、市長の考えは？



【市長答弁】 バリアフリー基本構想の策定状況は、平成29年3月31日時点で全国で294自治体となっており、埼玉県内ではさいたま市など8市2町で策定されている。越谷市では、越谷市総合振興計画に基づき、道路や公園等の公共施設のバリアフリー化に取り組むとともに、越谷市地域公共交通網形成計画に基づき、鉄道駅舎や路線バスのバリアフリー化の促進など、市独自でバリアフリーのまちづくりに取り組んでいる。また、越谷市バリアフリーマップとして「お出かけマップやトイレマップ」を作成し、市民の皆様や関係団体等に広く周知をしている。バリアフリー基本構想の策定予定は現在のところないが、平成30年5月25日付けで公布された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律」では、市町村が、バリアフリー化のまちづくりにむけた取組強化のため、個別事業の具体化を待たずに、あらかじめバリアフリーのマスタープランとなる「移動等円滑化推進方針」を作成することが出来るようになった。今後については「移動等円滑化推進方針」及び「基本構想」の策定について、調査・研究していく。



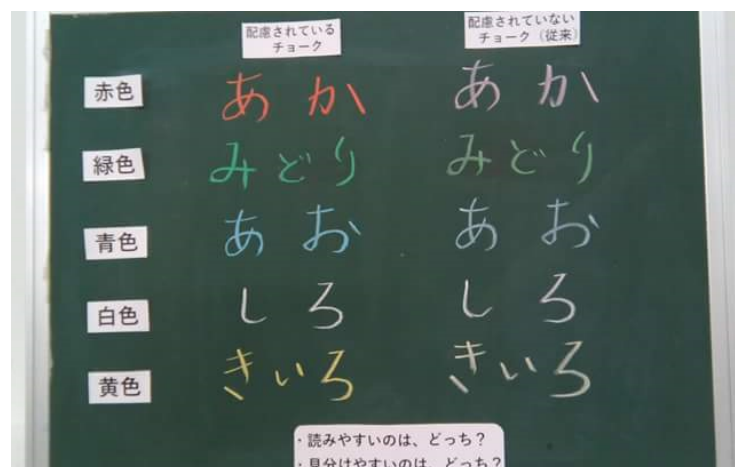
(運転免許の自主返納についても課題あり)

提案した政策が実現へ前進！

色覚チョーク導入へ！

【福田質問】 生まれつき色覚に何かしら障がいを持っている子どもは多い。千葉県松戸市では小中学校全校に色覚チョークを導入しており、生徒や教師の声を確認すると、その効果が高いと判断できる。また通常チョークと色覚チョークの値段は、ほとんど同じため予算の問題もない。そこで市内全小中学校への導入を提案するが教育長の考えは？

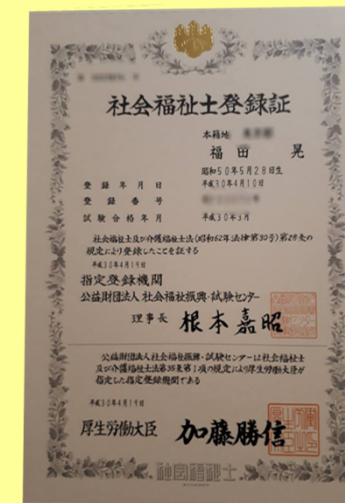
【教育長答弁】 越谷市内では、色覚異常であると診断された生徒は、検査を希望した生徒数の0.42%である。(合計111人)。色覚チョークは市内小中学校において7つの小中学校で導入しているが、ユニバーサルデザインの観点から、積極的に導入を検討していく。



(通常チョークと色覚チョークの比較)

国家資格「社会福祉士」の資格を活かして

前回の活動報告レポート(No.28号)では防災士の資格を取得したことをご報告させて頂きましたが、この度は社会福祉士の資格を取得したことを報告させて頂きます。通信制大学に入学し、2年間学びました。32回のレポート提出、スクーリング(通い)授業や1か月間に渡る現場研修、そして試験を経て、福祉系の国家資格である社会福祉士を取得しました。超高齢社会の中、地方議員は、福祉分野において政策力を高めていくことが、今までより一層望まれています。だからこそ現場を知り、資格を活かし、政策実現に邁進してまいります。



さらに子育てしやすいまちへ



夏休みの学童保育、預かり時間の前倒し！

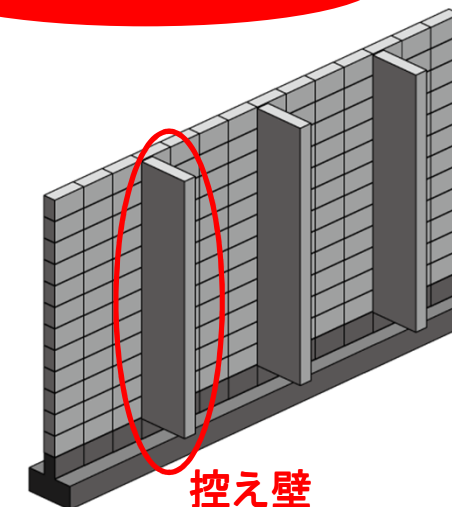
学童保育室の開室時間は、越谷市学童保育室設置及び管理条例の定めにより、小学校の授業の休業日にあたっては午前8時から午後7時までとなっています。しかし首都圏の近郊住宅都市として発展した本市においては、居住地と職場が離れており、朝早く出勤しなければならない保護者からは学童保育室の開室時間を早めてほしいとの意見が多くありました。越谷市としては児童の健全育成や安全確保、そして保護者の就労支援の観点から検討を進めてきましたが、様々な調査や、関係者と調整した結果、本年度の夏休みは開室時間を7時30分からとしました。

小中学校のブロック塀を点検

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震によりブロック塀が倒壊した事故があったことから、越谷市では下記3つの観点から市内小中学校ブロック塀調査を実施しました。

- ①2.2mを超えるブロック塀がある学校
⇒【結果】0校
- ②高さ1.2mを超える場合で3.4m以下の間隔で控え壁を設置していない学校
⇒【結果】5校(小学校3、中学校2校) 今後詳細調査
- ③亀裂等が生じている塀がある学校
⇒【結果】25校(小学校18校、中学校7校) 今後修繕予定

通学路の危険をチェック



議員提出議案4つが可決

6月定例議会では、4つの議員提出議案が提出されました。すべての議案が全会一致で可決されました。その内容をご紹介します。

- ・越谷市自殺対策推進条例制定について
- ・ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書について
- ・旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書について
- ・公文書改ざん等の真相究明と再発防止に全国会議員が一致して取り組むよう求める意見書について

議会が積極的に動けば市政はかならずいい方向に向かいます。私もさらなる議員活動に邁進します。